KEIYO

3.5インチモニター
AN-M001 取付説明書

取り付け完了後、「本書」をお客様にお渡しください。

安全上のご注意

●安全のため、取り付け・結線作業の前に以下のご注意とこの「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業してください。
●お読みになった後はいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示について

この取付説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告

この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

⚠注 意

この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

絵表示の例

	この記号は、注意（警告を含む）をしなければならない内容です。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。
	この記号は、禁止（やってはいけないこと）する内容です。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	この記号は、必ず行っていただきたい内容です。

作業をはじめる前に

⚠警 告

●**取り付ける車のバッテリー電圧を確認する…**
本機はDC12V車載用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災や故障などの原因となります。
●**配線作業中は、バッテリーのマイナス側コードをはずす…**
ショート事故による感電や、けがの原因となります。

取り付け場所について

⚠警 告

●**エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない…**
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やケガの原因となります。
●**本機を次のような場所に取り付けない…**
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所/運転操作を妨げたり、はずれたりして、ケガや交通事故の原因となります。

⚠注 意

●**雨が吹き込むところなど水のかかるところや、湿気・ほこりの多いところへは取り付けない…**
本機に水や湿気、ほこりが混入すると、発火や発煙の原因となることがあります。
●**振動の多いところなど、しっかりと固定できないところには取り付けない…**
はずれて、ケガや事故の原因となることがあります。
●**直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ、また本機の通風穴や放熱部をふさぐ場所に取り付けない…**
本機内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

取り付けの注意

⚠注 意

●**必ず付属の部品を指定通り使用する…**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずにはずれたりして、事故や故障の原因となることがあります。
●**車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、ガソリンタンクなどの重要保安部品は絶対に使用しない…**
これらを使用すると、制動不能や故障、発火の原因となることがあります。
●**車体のビスを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける…**
ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

結線の注意

⚠警 告

●**コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。
●**接続コード類は配線は、高熱部を避けて行う…**
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
●**エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…**
エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やケガの原因となります。

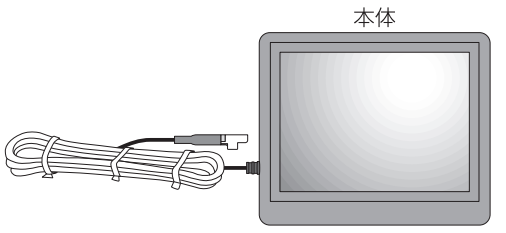
⚠注 意

●**正規の接続をする…**
誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります。
●**コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する…**
コード類が車体部分との接触によりすり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
●**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

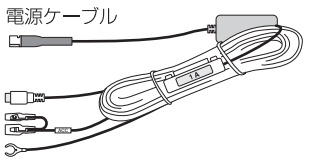
構成部品

1. 梱包内容　ご使用前に梱包内容をお確かめください。

本体

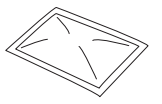


電源ケーブル



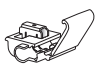
モニタースタンド
1個

クリーナー　1枚



コードクランパー　3個
（鉄製）

エレクトロタップ　1個



六角レンチ（小）　1本

六角レンチ（大）　1本

取扱説明書

取付説明書
（保証書）

本製品について

1. 製品の特徴

本製品はバックカメラなどを接続し、画面に映し出す機器になります。

1）バックカメラなど映像出力端子が付いているものであれば、モニターに接続することにより、画面上に映し出すことができます。
2）コンパクト & シンプルデザインのため、場所をとらず気にはなりません。
3）バックギアと接続することにより、画面の切替も自動で行えます。
4）特別な機能を持っていませんので、迷うことなく操作が簡単に行えます。
5）明るさが10段階で調整できるので、明るい場所や暗い場所などで画面が見難くなることはありません。
6）左右反転・上下反転が可能なので、取付位置を選びません。

⚠注 意

●**本製品は本来の使用目的以外では使用しないでください。**
使用した場合、当社では一切の責任を負いかねます。
●**本製品の取扱について、ケースを取り外さないようにして下さい。**
ケースを外すと内部の部品が破損する事があり、保証の対象外となります。
●**本製品の仕様は改良のため予告なしで変更することがございます。**
生じた場合は当社では一切の保証をいたしません。
●**本製品は取付説明書に準じて、取り付けを行ってください。**
独自で行って破損した場合は、対応致しかねることがありますのでご注意ください。

KEIYO 株式会社 慶洋エンジニアリング
〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1 第3長谷川ビル

取り付け方法（自動車への取付）

1. 取付事前確認

1）製品本体は視界の妨げにならない箇所に取り付けてください。
2）モニタースタンドを取り付ける際はしっかりと固定をしてください。
3）本体が土台にしっかりと固定されているか確認をしてください。
4）運転手の視界の妨げになっていないか再度確認をしてください。
5）凹凸部には取り付けないで下さい。
6）取付けの際には水分、油分は完全に拭き取ってから取り付けてください。
7）電源がしっかりと接続され供給されているか確認をしてください。

2. モニターの取付位置について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正（平成17年１月１日）に伴い、下記の範囲内の視界を確保することが義務付けられました。ダッシュボード上に機器（オンダッシュモニター、ポータブルカーナビゲーション等）を取り付ける際は、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

前方視界基準

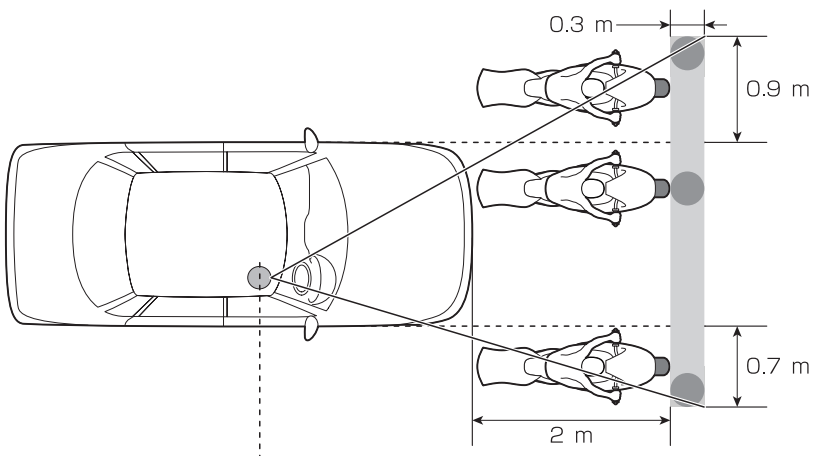
■対象車種

① 専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11 人以上のものを除く）
② 車両総重量が 3.5 トン以下の貨物自動車

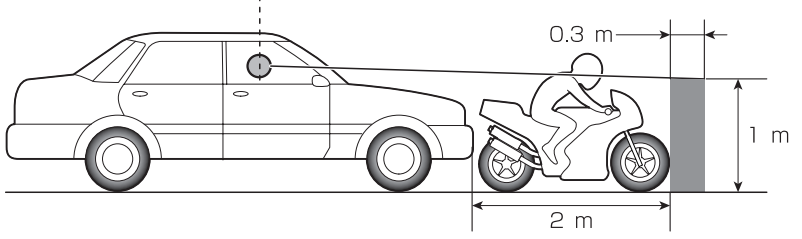
■基準概要

自動車の前方２ mにある高さ１ m、直径 0.3 mの円柱（６歳児を模したもの）を鏡等の用いず直接視認できること。
※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の　場合は、左右逆になります。

上面図



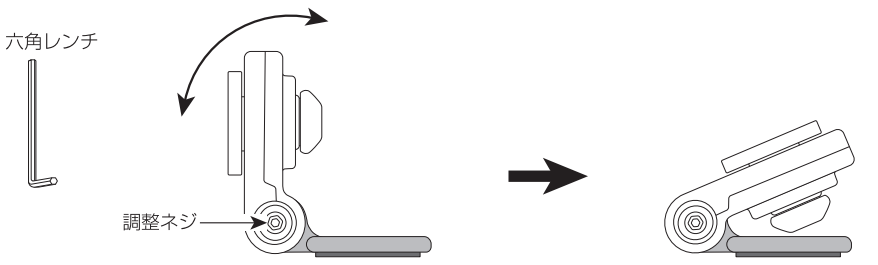
側面図



スタンドの角度調整

1. 角度調整

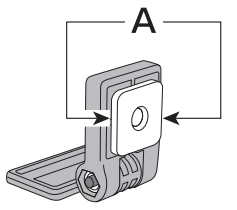
調整ネジを六角レンチでゆるめると白い部分が動きます。

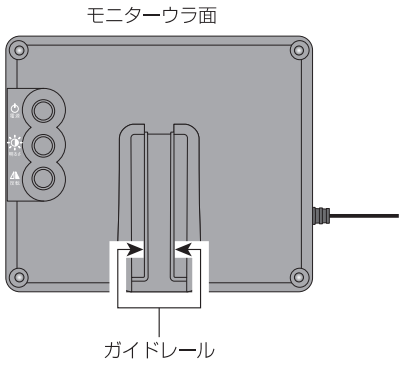


スタンド及びモニターの取り付け

1. モニターの取り付け

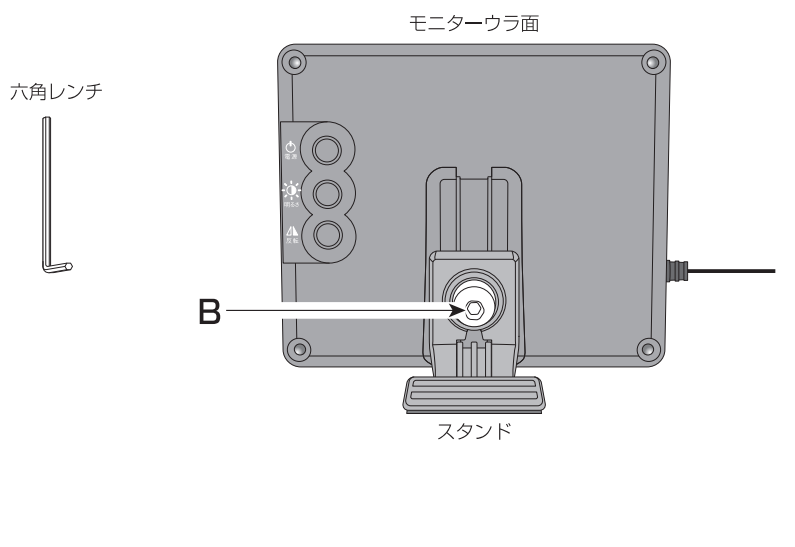
スタンドA部とモニターウラ面にあるガイドレールを合わせます。





2. モニターの取り付け

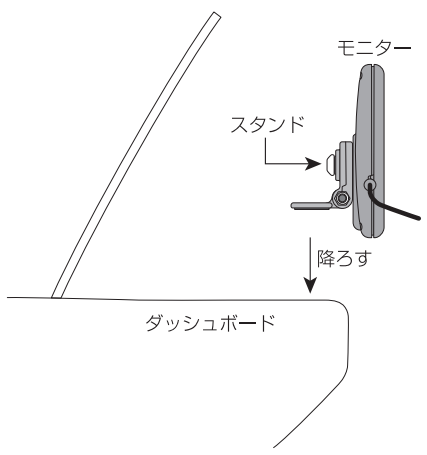
モニターウラ面のB部のネジを六角レンチを使用して軽く絞めてください。

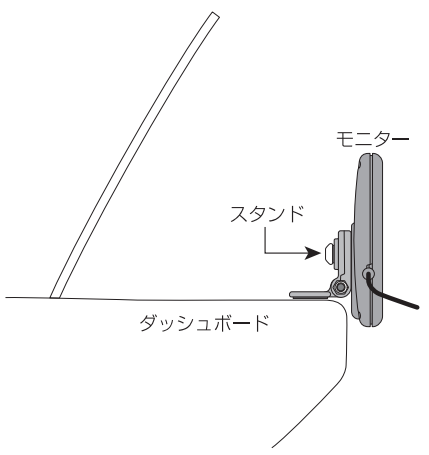


スタンド及びモニターの取り付け

3. モニターの位置調整

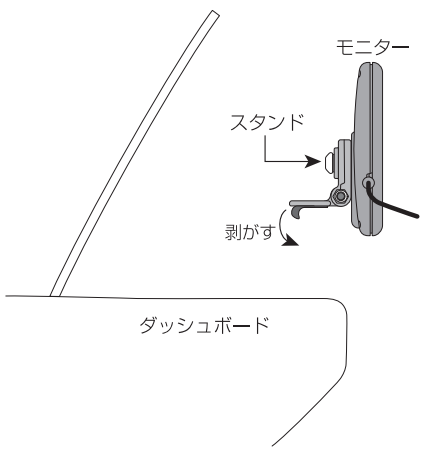
1）スタンドはダッシュボードの平らな面に置いてください。
　このとき、ウラ面にある両面テープのはくり紙は剥がさないでください。
2）モニターを上下に動かして見やすい位置に調節し、モニターが動かない様にしてください。
3）スタンドウラ側にあるモニターを止めるネジを六角レンチで締めてください。





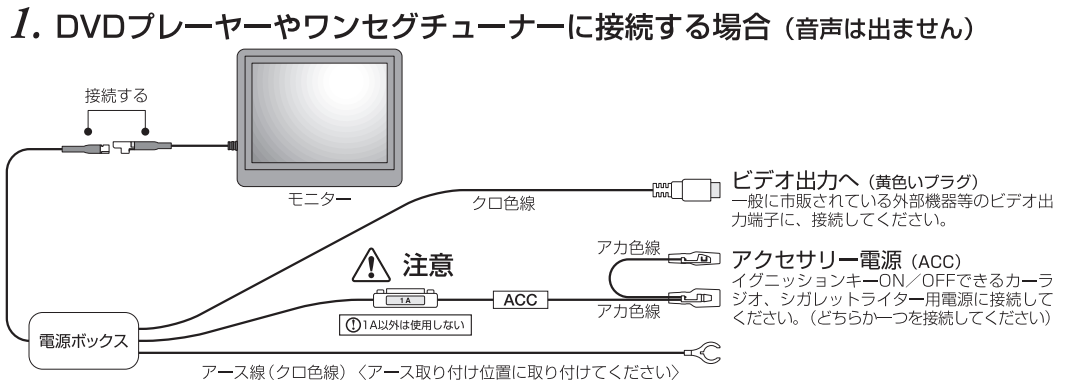
4. スタンドベースを貼り付ける

スタンドウラ面にある両面テープのはくり紙を剥がし、ダッシュボードの上にしっかりと貼り付けます。



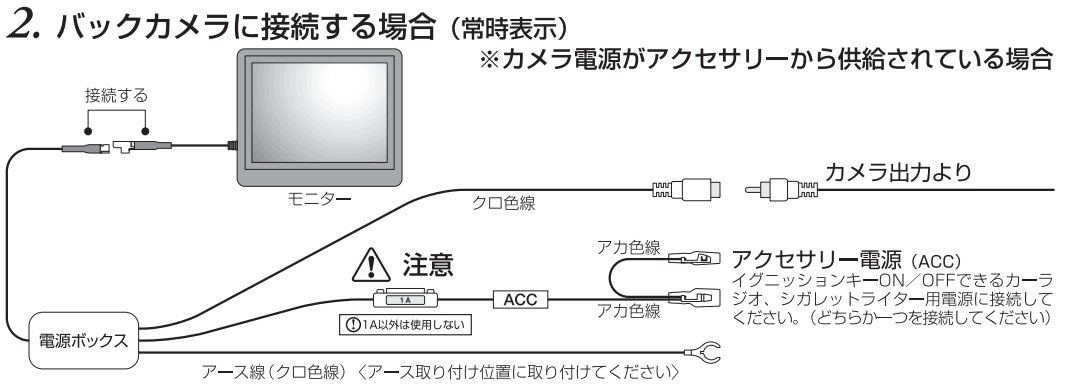
配線例

1. DVDプレーヤーやワンセグチューナーに接続する場合（音声は出ません）

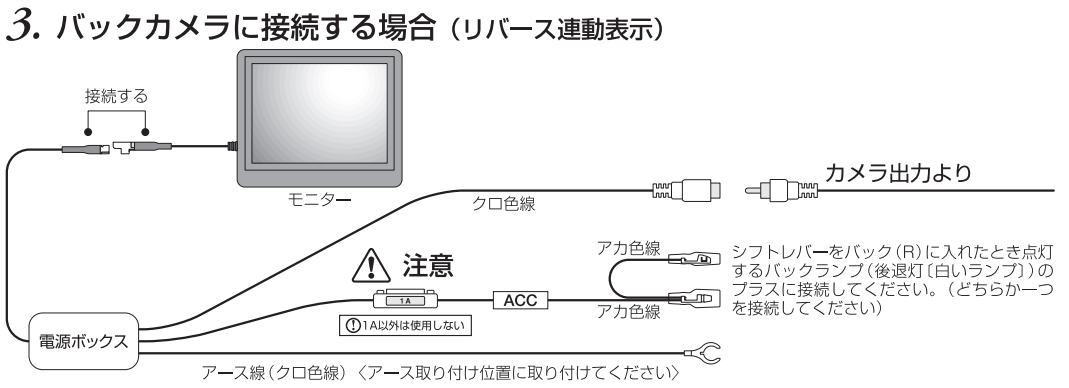


2. バックカメラに接続する場合（常時表示）

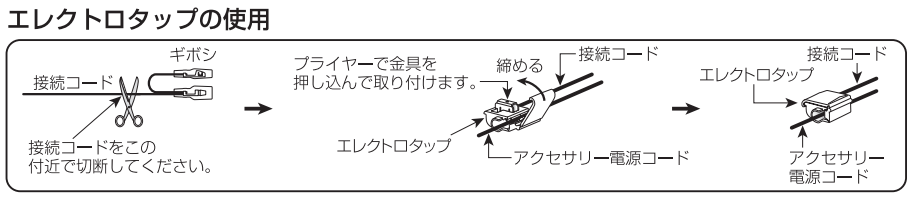
※カメラ電源がアクセサリーから供給されている場合



3. バックカメラに接続する場合（リバース連動表示）



エレクトロタップの使用



※カメラの電源接続方法は、カメラの取付説明書に従ってください。